



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2573 URL <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒寄 正太
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員グループ経営管理部長 (氏名) 神埜 亨 TEL 011-888-2051
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	13,409	5.6	275	2.9	280	0.2	172	12.0
2025年12月期第1四半期	12,693	2.1	267	66.8	279	53.3	153	△12.2

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 156百万円(20.1%) 2025年12月期第1四半期 130百万円(△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	12.65	—
2025年12月期第1四半期	11.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	54,453	43,321	79.6
2025年12月期	54,250	43,368	79.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 43,321百万円 2025年12月期 43,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,400	2.2	2,100	△20.0	2,050	△20.5	1,100	△34.1	80.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	13,607,996株	2025年12月期	13,607,996株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	966株	2025年12月期	966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	13,607,030株	2025年12月期1Q	13,607,144株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日~2026年3月31日)におけるわが国を取り巻く経済状況は、深刻な人手不足や継続的な物価上昇の対応が続く中、高い水準の賃上げが継続し、実質賃金の上昇を受けて個人消費は緩やかに回復するなど、景気は底堅く推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油などエネルギー価格の急騰懸念もあり、先行きについては引き続き不透明な状況が続いております。

北海道経済におきましては、生産活動は弱い動きとなり、観光も回復に足踏みがみられる一方で、設備投資や個人消費には持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中で、飲料ビジネスの主な営業活動としては、スーパーマーケット等の量販店においては主力製品や北海道限定商品の定番化や露出強化など、エリアに即した活動の更なる強化を図りました。飲食店等のEat & Drinkチャンネルでは、「コカ・コーラゼロ瓶」や「よわない檸檬堂」、3月に新発売した北海道限定商品の「綾鷹 番茶 2LPET」など飲食店向けの商品の提案活動を強化し、新規開拓を推進いたしました。

自動販売機ビジネスでは、病院や職域における給与計算業務や防災備蓄品管理等のバックオフィス事業、主に製造業においては物流事業、流通業では冷蔵クーラーや食品什器のメンテナンス事業といった、当社の強みであるグループビジネスを活用した顧客の課題解決提案によって、優良ロケーションの獲得や当社機への置き換え活動を強化いたしました。

新商品としては、2025年に新発売した北海道限定商品「綾鷹 番茶」から、家庭内での飲用シーンに合わせた「綾鷹 番茶 2LPET」を発売し、「ジョージア 深み焙煎贅沢ブラック無糖650mlPET」と「ジョージア 深み焙煎贅沢ブレンド甘さひかえめ650mlPET」は北海道エリア限定でテスト販売を開始いたしました。他にもミニッツメイドから「ミニッツメイド ゼロシュガーピーチレモネード600mlPET」を発売いたしました。

環境・社会に対する取り組みとしては「2026さっぽろ雪まつり」において、二酸化炭素を排出しない水素発電を活用した無料休憩ブースを設け、採水地の訴求や「北海道e-水プロジェクト」の取り組み紹介、会場内での「じはんきスタンプラリー」などを通じて、「札幌市と連携した環境への取り組み」と「いろはすの製品訴求」を中心に生活者とのコミュニケーションを強化いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高はエリアに即した活動に加え価格改定の効果などもあり、コンビニエンスストア、飲食店、Web販売が大きく伸長、自動販売機チャンネルでも業界がダウントレンドの中、前年に続き伸長を維持し13,409百万円(前年同期比5.6%増)となりました。利益面につきましては、原材料資材・エネルギー価格の更なる高騰の影響をうけたものの、道内販売の伸長に加え、継続した収益改善の取り組みにより、営業利益は275百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益は280百万円(前年同期比0.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は172百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、建設仮勘定や原材料及び貯蔵品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ202百万円増加し、54,453百万円となりました。

負債は、設備関係未払金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ250百万円増加し、11,132百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、43,321百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月6日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,570	8,996
受取手形及び売掛金	6,958	6,386
商品及び製品	5,097	4,920
原材料及び貯蔵品	535	792
その他	1,911	2,531
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	24,066	23,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,301	6,189
機械装置及び運搬具（純額）	5,495	5,553
販売機器（純額）	5,009	5,090
土地	6,356	6,356
建設仮勘定	462	851
その他（純額）	1,208	1,401
有形固定資産合計	24,834	25,442
無形固定資産		
ソフトウェア	1,210	1,180
その他	8	8
無形固定資産合計	1,219	1,188
投資その他の資産		
投資有価証券	693	693
退職給付に係る資産	3,268	3,341
その他	185	182
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	4,130	4,200
固定資産合計	30,184	30,831
資産合計	54,250	54,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,975	3,022
リース債務	322	340
未払金	1,693	1,876
未払法人税等	526	120
賞与引当金	—	267
設備関係未払金	473	794
その他	3,297	3,036
流動負債合計	9,289	9,458
固定負債		
リース債務	799	895
繰延税金負債	570	542
資産除去債務	82	81
その他	140	153
固定負債合計	1,592	1,673
負債合計	10,881	11,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	35,161	35,129
自己株式	△2	△2
株主資本合計	43,018	42,986
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	350	335
その他の包括利益累計額合計	350	335
純資産合計	43,368	43,321
負債純資産合計	54,250	54,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	12,693	13,409
売上原価	8,598	9,215
売上総利益	4,095	4,194
販売費及び一般管理費	3,827	3,918
営業利益	267	275
営業外収益		
受取賃貸料	9	12
助成金収入	4	1
その他	16	12
営業外収益合計	30	26
営業外費用		
固定資産除売却損	13	11
寄付金	1	0
その他	3	9
営業外費用合計	18	21
経常利益	279	280
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	6	19
リース解約損	0	0
特別損失合計	6	19
税金等調整前四半期純利益	273	260
法人税、住民税及び事業税	165	110
法人税等調整額	△44	△21
法人税等合計	120	88
四半期純利益	153	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	153	172

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	153	172
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△23	△15
その他の包括利益合計	△23	△15
四半期包括利益	130	156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130	156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、北海道を主な販売地域とする飲料の製造・販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	536百万円	567百万円